

YA 担当イチオシの作家さん

韓国ファンタジー界の新時代を築いたとされる **イ・ヨンドさん**。個性あふれる登場人物や危機迫る場面展開も魅力。長編ファンタジーに浸りたい人はぜひ読んでみてください！

☆オススメ作品「ドラゴンラージャ」  司書 M

私のイチオシ作家さんは「ショートショートの神様」と呼ばれている **星新一さん**！どの短編もどんでん返しな展開とオチが楽しめます。ぜひ手に取ってみてください。

☆オススメ作品「地球から来た男」  司書 H

私のおすすめは「リアルな学生生活」を多く描いている **朝井リョウさん**です。独特のヒリヒリする描写や、会話のやりとりで切なくなる感覚をぜひ味わってみてください。

☆オススメ作品「少女は卒業しない」  司書 T

～図書館の開館時間～

開館時間 日曜日～木曜日 10:00～18:00
金曜日 10:00～20:00
土曜日 10:00～19:00

休館日 毎月第1・3水曜日（祝日の場合は次の平日）
年末年始（12月28日～1月4日）



ホームページ
はこちらです

わいわいぱらら

冬のおくりもの



まどかぴあ図書館には、10代の方に読んでもらいたい本を集めたYAコーナーがあります。



おすすめの本



『ぼくらは星を見つけた』

戸森 しるこ／著（講談社）〔YA/F/トモ〕

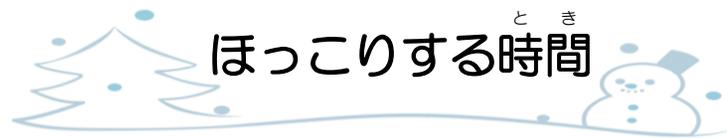
住みこみの家庭教師として働くことになった岬くん。屋敷では、ご主人のそらさんと、10歳の星くん、ハウスキーパーのシドさんに「家族」として迎えられ、自分の居場所を見つけていく。しかし、あたたかい日々を過ごす中で、家族それぞれの秘密に気づき始める。星くんがそらさんの実の子どもではないこと、そらさんとシドさんの複雑な関係を知った岬くんがとった行動とは？家族の「再生」をあたたかく描く。



『賢者の贈り物』 オー・ヘンリーショートセレクション

オー・ヘンリー／著（理論社）〔YA/933/ハ〕

クリスマスの前の日、デラは貧しさのせいで夫に贈り物をするお金がなく泣いていました。そんな夫婦の家にも宝物が2つありました。夫が親から受け継いだ懐中時計と、デラの長く美しい髪です。デラは泣き止んだ時、名案が浮かびます。それは愛する夫のため、宝物である自分の美しい髪を売ることでした。百年以上語り継がれているオー・ヘンリーの短編集。優しさに包まれた私たちへの贈り物です。



『コンビニたそがれ堂』

村山 早紀／著（ポプラ社）〔YA/F/ムラ〕

風早街では、夕暮れ時に商店街の外れに行くと、赤い鳥居のそばの不思議なコンビニにたどり着くことがあります。大事にしていたお人形、自分の死期を悟った子猫、壊れて映らなくなったテレビ…。悲しくて切なくて、胸がきゅっとなるけれど、小さな奇跡に心がほっと温くなる素敵な物語。それぞれの想いを抱えて、必死に本当に大切なものを探しているとき、コンビニたそがれ堂はあなたの前に現れます。



『ココロの友だちにきいてみる』

細川 貂々／著（笠間書院）〔YA/146.8/ホ〕

心にネガティブ思考クイーンを住まわせた漫画家、貂々さん。そんな作者が綴った『友だち日記』。友だち日記とは、ココロの友だちを作って、自分の日記にその“ココ友”がひとこと言葉をくれる日記のこと。“ココ友”のキャラを決めたらスタート。前に進めない日も、チャレンジする日もある作者の毎日が、絵日記で108日間綴られています。読むうちに励まされ勇気をもらえる一冊です。

